地区補助金事業報告
岩国西ロータリークラブ

岩国西RCでは、過去6年間に渡り市内中学校生を対象にAED講習会を年に２回開催し、学校関係者・教育委員会・岩国消防本部より大変歓迎されている。

AED講習用人体模型は岩国市消防本部より借用し講習会を開催しているが近年講習用機材及び人体模型が老朽化し講習会が思うように進められなくなった。

講習用機材及び人体模型の新調を要請したが予算の都合上新調には時間が掛かるということであり、我がクラブでは今後もAED講習会を継続していくつもりであるので、その講習会が潤沢に進められるよう訓練機材及び人体模型の寄贈を決定した。

平成25年９月9日（月）救急の日15時から岩国消防本部講堂にて藤本消防長ほか関係者30名、岩国西RC会員9名、報道関係者2名でAED講習用訓練機材及び人体模型の贈呈式を行った。

贈呈後寄贈した器機を用いて救急隊員が模擬訓練を行った。

この事業により恩恵を受ける人数は

・市内全中学3年生対象 生徒数約2,000人（当クラブ実施のAED講習会）

・ 一般市民の受講者1,169人（昨年度実績）

贈 呈 式

贈呈器材

模擬訓練

新聞記事(山口新聞)

AEDや心肺蘇生

トレーニング機材など寄贈

岩国西RC

「救急の日」の9日、岩国市の岩国西ロータリークラブ（RC）、藤本雄二会長、50人の会員が市内の中学生を対象に救命講習会を年2回開いている。その際に消防組合から借りる講習用機材・人体模型が老朽化し、「ことから、社会奉仕委員会（会員7人）は、岩国地区消防組合にAEDトレーニング用機材（練習用自動体外式除細動器）と心肺蘇生法トレーニング人形を各2組（約30万円相当）寄贈することを決めた。

寄贈式では藤本会長ら6人が市庁、藤本博三消防長に「救命講習会に役立てるよう」と寄贈。同消防長は「今後の救命講習会に使用し蘇生を図ってほしい」と感謝の意を述べた。

同消防組合にはAEDトレーニングユニット1組、心肺蘇生法トレーニング人形が大人6体、幼児3体、新生児4体あるが、救命講習会を昨年度85回（受講者1169人）、今年もすでに20回（同659人）開いており、寄贈された新しい講習用機材・人形は大いに役立つという。式後、救命隊員が、寄贈された講習用機材・人形を使って展示訓練を披露した。

岩国地区消防組合であった講習用機材・人形の寄贈式＝9日、岩国市

新聞記事(日刊いわくに)

消防にセット贈る

岩国西RC AEDトレーニング用

岩国西ロータリークラブ（藤本雄二会長、50人）の会員が市内の中学生を対象に救命講習会を年2回開いている。その際に岩国市の岩国西ロータリークラブ（RC）、藤本雄二会長、50人の会員が市内の中学生を対象に救命講習会を年2回開いている。その際に消防組合から借りる講習用機材・人体模型が老朽化し、「ことから、社会奉仕委員会（会員7人）は、岩国地区消防組合にAEDトレーニング用機材（練習用自動体外式除細動器）と心肺蘇生法トレーニング人形を各2組（約30万円相当）寄贈することを決めた。

寄贈式では藤本会長ら6人が市庁、藤本博三消防長に「救命講習会に役立てるよう」と寄贈。同消防長は「今後の救命講習会に使用し蘇生を図ってほしい」と感謝の意を述べた。

同RCは新世代事業委員会の活動が7年前から、会員たちが市内の中学生を対象に救命講習会を年2回開いている。その際に消防組合から借りる講習用機材・人体模型が老朽化し、「ことから、社会奉仕委員会（会員7人）は、岩国地区消防組合にAEDトレーニング用機材（練習用自動体外式除細動器）と心肺蘇生法トレーニング人形を各2組（約30万円相当）寄贈することを決めた。

寄贈式では藤本会長ら6人が市庁、藤本博三消防長に「救命講習会に役立てるよう」と寄贈。同消防長は「今後の救命講習会に使用し蘇生を図ってほしい」と感謝の意を述べた。

同RCは新世代事業委員会の活動が7年前から、会員たちが市内の中学生を対象に救命講習会を年2回開いている。その際に消防組合から借りる講習用機材・人体模型が老朽化し、「ことから、社会奉仕委員会（会員7人）は、岩国地区消防組合にAEDトレーニング用機材（練習用自動体外式除細動器）と心肺蘇生法トレーニング人形を各2組（約30万円相当）寄贈することを決めた。

寄贈式では藤本会長ら6人が市庁、藤本博三消防長に「救命講習会に役立てるよう」と寄贈。同消防長は「今後の救命講習会に使用し蘇生を図ってほしい」と感謝の意を述べた。

同RCは新世代事業委員会の活動が7年前から、会員たちが市内の中学生を対象に救命講習会を年2回開いている。その際に消防組合から借りる講習用機材・人体模型が老朽化し、「ことから、社会奉仕委員会（会員7人）は、岩国地区消防組合にAEDトレーニング用機材（練習用自動体外式除細動器）と心肺蘇生法トレーニング人形を各2組（約30万円相当）寄贈することを決めた。

寄贈式では藤本会長ら6人が市庁、藤本博三消防長に「救命講習会に役立てるよう」と寄贈。同消防長は「今後の救命講習会に使用し蘇生を図ってほしい」と感謝の意を述べた。

同RCは新世代事業委員会の活動が7年前から、会員たちが市内の中学生を対象に救命講習会を年2回開いている。その際に消防組合から借りる講習用機材・人体模型が老朽化し、「ことから、社会奉仕委員会（会員7人）は、岩国地区消防組合にAEDトレーニング用機材（練習用自動体外式除細動器）と心肺蘇生法トレーニング人形を各2組（約30万円相当）寄贈することを決めた。

寄贈式では藤本会長ら6人が市庁、藤本博三消防長に「救命講習会に役立てるよう」と寄贈。同消防長は「今後の救命講習会に使用し蘇生を図ってほしい」と感謝の意を述べた。

藤本消防長に機材を寄贈する藤本会長（左）

動器）のトレーニングユニットセット、心肺蘇生法トレーニング人形（大人用）2セットを寄贈した。

同クラブは並成8年から会員である医師を中心に市内中学生を対象にしたAED・心肺蘇生法の講習会を行っている。その際、岩国地区消防組合から補用キットを借りているが、機材が老朽化してきたことで「でもAEDのこと社会奉仕委員会が約30万円分を出、最新セットを寄贈した。

組合本部での寄贈式では藤本会長が藤本博三消防長に機材を寄贈する藤本会長（左）

キューバ戦とも10－0のコールド勝ち。すでに出勝ての対戦が決まっていたリー戦で、高橋投手は味方のエラーもあって勝ち越しを許し、岩国ナインや応援関係者らが新宮駅で出迎え、労をねぎらった。

六回は広島新庄の田口が3連続二塁打で逆転。すでに出勝ての対戦が決まっていたリー戦で、高橋投手は味方のエラーもあって勝ち越しを許し、岩国ナインや応援関係者らが新宮駅で出迎え、労をねぎらった。

4日のカナダ戦は7－5で辛勝。高橋投手は5回から5番手として登板、ウイニングを無安打に抑え、安子選初戦で投げ合い、勝利した前橋育英の斎藤光が2ウンドを引き継ぎ、無失点。本は5日の韓国戦、6日の

にユニットと人形を手渡し、「平素から厳しい訓練を積み、昼夜問わず市民の生命・財産を守り、安全で安心できる市民生活を維持

奇贈された機材を使い、救急救命のデモンストレーションを行った中央消防署の救急隊員

員は、「嬉しいですね。機材を有効に活用してほしい」と話した。

していただいているように心より感謝します。本日の寄贈は新世代事業委員会の一環として寄贈したAED、人形を活用され、市民の生命・財産を守っていただき、安全で安心して暮らせる岩国市づくりをめざすよう願っています。救命率向上は救急隊が到着するまで居合わせた市民の応急手当が欠かせず、トレーニングユニット人形を使用した講習会はぜひやってください。寄贈いただいた機材は講習会などで活用し、救命率の向上を図っていきます」と感謝した。

消防組合は昨年度、85回の救命講習を行い、延べ1169人が受講した。今年は8月末現在で50回、859人が受講しているが、機材は古いものは傷んでいる。10年以上経ち、傷んでいる。

寄贈式後、中央消防署の救急隊員が寄贈されたばかりの機材を使って応急救命のデモンストレーションを行った。見守ったクラブ会